

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	丹後文化芸術祭助成事業				
事業の概要	丹後地域(2市2町)で構成された実行委員会が中心となり、丹後圏域のグループ・サークル等が参加する「丹後文化芸術祭」の実施運営に対し助成する。				
	目標時期	平成19年度			
	総事業費	8,500千円	本年度事業費	1,800千円	交付金交付額
事業の必要性	市域、町域、世代を越えた丹後圏域住民の自主的な取り組みを奨励し、住民参加・住民運営型の広域的な文化芸術活動を支援する必要がある。				
事業の有効性	発表の場を提供することにより、参加団体や出場者等の専門性の追求や技術・技量の向上が図られる。とりわけ、大舞台での発表体験は出演者にとって貴重な財産となり励み・目標となっている。また、幅広いジャンル・世代間交流も活発となり、文化芸術活動が広がるとともに、鑑賞者にとっては文化芸術にふれる機会となる。				
事業の効率性	実行委員会に各分野、部門ごとの事業推進委員会を組織し、出演者や参加者の募集から展示、進行から発表までを各委員が主体的に運営することによって、住民参画型の文化芸術事業が推進できる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果 市域・町域を越えた丹後圏域住民の参加型の文化芸術事業として広域的に実施することにより、圏域における文化芸術活動の拡充や交流、文化意識の高揚が図られる。				
	4 広域的波及成果 昨年の10部門開催と比べ平成18年度は、舞台7部門・展示2部門・セミナー3部門の計12部門を実施し、参加者は延べ7,175人(出場者・参加者1,966人、鑑賞者等5,209人)で、昨年(6,245人)に比べ15%増加した。本事業は丹後圏域の文化芸術活動の発表・交流の場としての大きな役割を果たしており、今後も参加しやすい、また鑑賞に興味を抱くようなテーマを積極的に検討していく。				
	5 行財政改革に資する成果 各分野、部門ごとに有志等による事業推進委員会が設けられ、住民ニーズを計りながら専門的かつ効率的な運営ができた。				
	6 その他の成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。